



令和 3 年 4 月 28 日

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市真鍋島4093
協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会
協議会長名 会長 森本 康夫

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 474,456 円

〔内訳〕

(単位：円)

活動No (優先順位)	活動名	申請額
1	山道の整備・保全事業	474,456

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）活動計画書（様式第15号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）収支予算書（様式第16号）
- (3) 地域づくり計画書などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）活動計画書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】山道散策と観光地を推進

【効果】瀬戸内の景観が楽しめる、来島者との交流、コミュニケーション作りができる。

2 実施期間

令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

島内全域

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 7 人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わる人数： 2 人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）

○団 体： （団体名） , （団体名）

（団体名） , （団体名）

5 実施内容

島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であり清掃も実施する。活動成果の島内外への周知を強化する。（掲示板、インターネット等により）島を横断できる山道は十数年前までは地域の人々で一年を通して綺麗に整備され続けていました。四季折々を気軽に感じられる真鍋島の山道は観光としてもとても大切であり、山道を維持できなくなれば、地域の衰退は更に加速すると思われる。

6 予算額

474,456 円（うち交付金分 474,456 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金A）収支予算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業

【収入の部】

(単位：円)

費 目	金 額	摘 要
市交付金	474,456	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	474,456	

【支出の部】

(単位：円)

費 目	金 額	摘 要
報償費	360,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	112,456	〃
役務費	2,000	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	474,456	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書1》

報償費

内 容	金 額	積 算
草刈り報償費	360,000	草刈り等5人×@1,000×7回×4時間=140,000 ✓
		2人×@1,000×10回×4時間=80,000 ✓
		1人×@1,000×20回×4時間=80,000 ✓
		草枯らし散布2人×@1,000×10回×3時間=60,000 ✓
計	360,000	

旅費

内 容	金 額	積 算
計	0	

需用費

[illegible]

《収支予算内訳書 2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	112,456	

役務費

内 容	金 額	積 算
物品運搬手数料	2,000	船賃@500×4 /
計	2,000	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。